

**2015年度 決算説明会  
主な質疑応答**

Q1: チェキの2015年度販売実績、及び2016年度の見通しは？

A1: チェキの販売は台数ベースで、通年で505万台、4Qでは対前年同期+38%となる134万台であった。2016年度も2015年度同等の伸び率を維持し、3割増となる650万台の販売を見込む。

Q2: ドキュメント事業について、2015年度は為替のマイナス影響を大きく受けたが、一転して増益を見込む2016年度計画の考え方を確認したい。

A2: 2016年度におけるドル安基調はドキュメント事業にとってはプラス。2015年度は為替のマイナス影響に隠れてしまっていたが、オペレーションベースでは成長していた。今後もこれまでの施策を通じて成長を持続させることで、2016年度の増益計画は達成可能と見ている。

Q3: M&Aについて、今後はメディカル関連以外の案件もあり得るのか？

A3: M&Aについては特に事業領域を限っているわけではない。ヘルスケア、高機能材料、ドキュメントの成長事業領域を中心に、1+1が3になるようなシナジー効果を生かせる案件については積極的に検討する。シナジーに加えて投資対効果なども勘案した上で、総合的に判断していく。

以上